

## 障がい福祉サービス利用者と竜ヶ崎二高生徒が交流

—「龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット」が橋渡し—

8月10日、龍ヶ崎市市民交流プラザで、障がい福祉サービス事業所「かんばにい」の利用者と竜ヶ崎二高・学校家庭クラブの皆さんがクッキーづくりで交流しました。

市民活動に「協力したい(協力)団体」と「協力してほしい(受け入れ)団体」の橋渡しを行う『龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット』の事業で、今回の交流では、学校家庭クラブの皆さんの提案により、「スタンドグラスクッキー」を皆で作りました。

オープンから漂う甘い香りの中で行う型抜きや、色とりどりの飴で飾り付ける作業に、参加者からは自然と笑みがこぼれ、とても和やかな雰囲気での交流となりました。

※今後も、「龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット」では団体同士の橋渡しを行い、市民活動の活性化を促進していきます。協力・受け入れ団体は随時受け付けています



この日は「かんばにい」利用者と竜ヶ崎二高・学校家庭クラブの皆さん、地域の皆さんが「スタンドグラスクッキー」を作りました

## 三宅島・龍ヶ崎市の柔道交流会

—2000年の三宅島噴火から17年ぶり—



三宅島を訪れ、地元少年少女柔道部員と交流を行った龍ヶ崎柔道スポーツ少年団の皆さん。17年ぶりに交流が再会しました

7月29日、龍ヶ崎柔道スポーツ少年団の団員と指導員が東京都三宅島を訪れ、三宅島の少年少女柔道部員と柔道交流を行いました。

三宅島・龍ヶ崎市の柔道交流会が始まったのは、当市の名誉市民で前回の東京オリンピック柔道中量級金メダリスト・岡野功氏が、昭和51年に三宅島を訪れたことがきっかけ。以来、毎年交互に会場を移しながら、合同練習やホームステイなどで親睦を深めてきました。

2000年の三宅島噴火により交流は中断を余儀なくされましたが、今年17年ぶりの再開となりました。

今回三宅島を訪れた同少年団は、高校の柔道場で合同練習を行い、その後地元のお祭りなどに参加して、交流を深めました。

## 龍ヶ崎空手スポーツ少年団流空会

—県大会上位通過で全国大会へ—

8月5日・6日に群馬県高崎市の高崎アリーナで「第60回小学生・中学生全国空手道選手権大会」が行われ、予選の県大会を通過した龍ヶ崎空手スポーツ少年団流空会の選手17人が出場し、各県予選を勝ち上がった選手を相手に健闘を見せました。

また同会の亭嶋優来さん(龍ヶ崎西小6年)は、「全日本少年少女空手道選手権大会」の県予選を1位で通過し、同日、東京都足立区の東京武道館で行われた全国大会に出場しました。



「第60回小学生・中学生全国空手道選手権大会」に参加した龍ヶ崎空手スポーツ少年団流空会の選手たち(左)と「全日本少年少女空手道選手権大会」に参加した亭嶋優来さん(右)

